

# 八戸市国民健康保険第3期データヘルス計画 及び第4期特定健康診査等実施計画について(概要)

## 1 計画の趣旨・計画期間

八戸市国保は、これまで、「第3期データヘルス計画(※1)」及び「第4期特定健康診査等実施計画(※2)」に基づき、特定健康診査など各種保健事業の効果的かつ効率的な推進に取り組んできた。

このたび、両計画が今年度をもって終了することに伴い、これまでの保健事業の実績を踏まえ、引き続き一体的な計画(計画期間:令和6年度から11年度までの6か年)として策定することとした。

※1 診療情報等の分析に基づく被保険者の健康保持増進のための保健事業の実施計画

※2 メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査等の実施計画

## 2 前期計画の主な実施状況

計画目標 (令和5年度)		➔	実績 (4年度)	実績 (28年度)
特定健康診査受診率	60%		31.2%	32.0%
特定保健指導実施率	60%		26.3%	35.5%
メタボリックシンドローム該当率	15%		24.5%	21.6%
ジェネリック医薬品の使用割合	80%		84.5%	74.2%

## 3 健康課題・保健事業の実施計画・主な指標

健診データ及び診療情報の分析に基づき、4つの健康課題を設定し、それぞれに対応した保健事業を実施する。なお、★は県内市町村で共通して設定する評価指標となる。

健康課題	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の県内順位がいずれもワースト10にある。
保健事業	特定健康診査事業、特定保健指導事業、国保人間ドック事業
主な指標・目標値	特定健診実施率40% (★)、特定保健指導実施率45% (★)、特定保健指導による対象者の減少率25% (★)

健康課題	県平均と比較して、健診の結果高血糖の者が多く、糖尿病が死因の割合が高い。
保健事業	看護師による早期受診・重症化予防のための訪問指導事業、栄養士による重症化予防のための訪問指導事業、糖尿病重症化予防事業
主な指標・目標値	HbA1cが8.0%以上の者の割合 1.5%以下 HbA1cが6.5%以上の者の割合 13%以下 (★) HbA1cが6.5%以上の者のうち、糖尿病レセプトがない者の割合 10%以下 (★) 生活習慣病医療費の割合を15%未満にする。

健康課題	一人当たり医療費が県平均より高く、伸び率も国を上回っている。
保健事業	重複・頻回受診者等に対する適正受診の訪問指導事業、ジェネリック医薬品利用差額通知送付事業
主な指標・目標値	後発医薬品の使用割合(数量シェア) 88%以上(★) 一人当たり医療費の伸び率を4年度比で県以下にする

健康課題	生活習慣改善意欲は高いが、健康に関するイベントや教室を通じ正しい知識を普及する必要がある。
保健事業	元気応援！お得ーポン事業、市民健康づくり講座事業、各地区健康教室事業、歯周病検診事業
主な指標・目標値	血圧が①収縮期血圧 130mmHg 以上または②拡張期血圧 85mmHg 以上の割合 50% 以下 (★) 運動習慣のある者の割合 45%以上 (★) 前期高齢者の低栄養傾向者 (BMI20kg/m <sup>2</sup> 以下) 数の割合 13%以下 (★) 50～74 歳の咀嚼良好者の割合 75%以上 (★) 喫煙率 12%以下 (★)

#### 4 計画の推進

- 八戸市のホームページ等において計画を公表し、被保険者や関係機関等への周知を図る。
- 中間年度である8年度に中間評価を行い、目標値等を見直しながら、11 年度に計画全体の見直しを行い、12 年度以降の次期計画の策定につなげていく。